第３学年　社会科指導案

１　単元名：「選挙について考えよう」

「中学校学習指導要領（H29年告示社会編）」　公民的分野　C私たちと政治　(2)民主政治と政治参加　ア(イ)、イ(ア)

２　本時のねらい

　　体育大会のリーダーを選び、当選者の公約実現に向けた取り組みを分析する活動を通して 、より良い社会の実現を視野に、選挙で投票することや市民が政治権力に対して影響力を行使することの意味や意義について考え、理解することができる。

３　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 活動内容 | 教師の指導・援助 |
| 導入展開終末 | 0.事前の課題として投票先を決定しておく・4人の主張を読んだ上で、リーフレットのQ1を記入する。・感覚で選ぶのではなく、理由を持って選ぶ。 1.課題設定(2分)

|  |
| --- |
| 学習課題：なぜ選挙に行くべきか。 |

2.投票方法を説明する。 ・投票用紙の書き方を説明し、代表の児童に投票箱の中身が空の状態であることを確認させるなど、現実に即した投票を行う。3.投票をする。 4.各候補者に投票した理由をペアで話し合う。 →全体交流をする。 ・各候補者に投票した生徒の意図を聞いて共感したり、立場の違いによる意見の多様性に気付いたりする。・様々な視点で政策を見ることができる。5.開票した結果を提示する。 6.選挙後の活動の様子についてどう考えるか、Q2の欄に書く。・活動の様子を提示する。【陶都が当選したと仮定する】 陶都さんが提案した取り組みが失敗したとする。「はじめは、必ず参加しなければならない週３日の練習以外の自主練習にも参加してくれる人が多く、積極的に参加できました。しかし、徐々に参加者のモチベーションが下がり、自主練習への参加率が下がり、練習がうまく進まなくなりました。」 「選挙後の活動の様子を見て満足しましたか?自分の立場を明らかにして説明しましょう。」 7.選挙に行く意義をグループワークで考え、全体交流する。 「選挙の結果やその後の活動に満足する人も不満に思う人もいるのに、それでもやはり選挙に行かなければならないのか。選挙にいく意味を考えよう。」・選挙権があるから。 ・自分が得をする政策が選ばれるようにするため。 ・意思表示をするため。(自分の気持ちを伝えるため。) ・世の中をよくするため。 ・政治家を監視していることをアピールするため。 ・グループの代表者は話し合った意見を発表する。 8.リーフレットのQ３に選挙について大切だと考えることを記入する。 ・展開7のグループワークを通して他者の意見を聞き、自分の意見を見直し、再確認する。・最後に、自分の考えやグループワークで新たに知った考えをまとめ、リーフレットに記入する。 | ○授業が始まる前までに、生徒はリーフレットのQ1を記入して、授業は投票するところから始める。 ○実際の投票用紙と投票箱で投票を体験できるようにする。 ○実際の投票のように厳粛な雰囲気を作り出す。 ○発表の視点として、立場の違いを認識した上で自分たちの意見を発言することを確認する。○同じ意見でも、受け取り側である主権者の立場や何に魅力を感じるのかは人それぞれであることや、一つの意見だけでは全員が納得することができないことに気付くことができるようにする。 ○教師が素早く開票する。○Ｑ2の欄を代用して考えを記入するよう伝える。○スライド資料の中から当選者に関するものを選択し、生徒に提示する。○挙手で指名する。○投票先を明示するように伝える。○不満に思う人もいる中で、本当に選挙に行かなくてはならないのか疑問をもつことができるようにする。○展開6を踏まえ、選挙に行く意味を考えることができるようにする。 ○選挙に行かなくてもよいと考える児童には、具体例を提示し、その場合においても本当に行かないのか問いかける。○自分の考えとグループの考えは区別するように指導する。 |

【評価規準】
・数多くある情報を吟味して慎重に選挙で投票することや市民が政治権力に対して影響力を行使することの意味

や意義について理解している。(知識・技能)

・より良い社会の実現を視野に、選挙で投票することや市民が政治権力に対して影響力を行使することの意味や意義について多面的多角的に考えている。(思考・判断・表現)

・選挙に対してどのように関わっていけば良いか、グループ活動を通して主体的に考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)